

(別記)

美郷町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域は、仙北平野の南東部に位置し、全耕地面積に占める水田の割合が約93%で基盤整備率が約82%と進んでおり、土地利用型農業の生産性向上等を一層進めていく必要がある。

また、主食用米と技術や機械が共通して取り組みやすいことなどを背景に、近年では加工用米、備蓄米、新規需要米などの非主食用米が増加しており、転作面積の約4割を占めている。

さらに、土地利用型の作物の面的増加を考えると大豆であり、本地域の主要な転作物として位置付けている。

アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト、ねぎ、ホウレンソウ、シイタケ、すいか、花きの美郷ブランド10品目とメロン、セリ、ソラマメ、ニラ、モロヘイヤの美郷町振興野菜など対象品目は多岐にわたっている。

2 作物ごとの取組方針

本地域の五千九百haの水田について、適地適作を基本に、産地交付金を有効に活用しながら作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

消費者や実需者のニーズに対応した「売れる米づくり」を推進し、米の産地としながら作物生産の維持・拡大を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米を転作の重点推進品目として位置付け、将来の大幅な需要拡大・作付拡大を見据え、農業者が取り組みやすい環境整備を進めていく。

具体的には、収量向上や低コスト生産などの栽培管理面の技術確立、多収品種の導入、団地化を推進し、産地交付金も最大限活用して作付拡大を図る。

【H28実績：63.7ha → H29目標75.0ha】

イ 米粉用米

米粉用米については、農業関係機関、団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

ウ WCS用稲

WCS用稲については、農業関係機関、団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

エ 加工用米

加工用米については、JA等の連携のもと、複数年契約（3年間）による安定的供給を推進するため産地交付金の追加配分を活用しつつ、生産拡大を図る。

オ 備蓄米

備蓄米については、農業関係機関、団体等との連携を強化しながら、水田の有効活用を図る。

（3）麦、大豆、飼料作物

大豆については、今後とも転作の重点作物として位置付け、産地交付金等を有効活用しながら団地・集積化を推進するとともに、モミガラ補助暗渠等による排水対策や堆肥の投入等による地力増進に努めるなど、生産性向上対策の確実な導入定着を図る。

【H28実績：492.8ha → H29目標：552.8ha】

麦、飼料作物については、産地交付金を活用し、組織経営体による団地・集積化を推進し、農業関係機関、団体等との連携を強化しながら水田の有効活用を図る。

（4）そば、なたね

水田フル活用の観点から、不作付地を有効に活用できる作物として位置付け、地域の需要者との契約を基本として、産地交付金の活用により集積化を推進し、作付拡大を目指す。

（5）野菜・花き等

野菜・花き等については、複合経営の柱となる作物として位置付け、美郷ブランド10品目や美郷町振興野菜の重点作物を選定し、産地交付金をはじめ、強い農業づくり交付金や夢プラン事業など、国や県の支援策を有効活用し、収益性の高い品目の作付拡大を図る。

（6）果樹

果樹については、種なし大粒ぶどうなどを振興作物として取り組みを進める。

（7）生薬

町の“生薬の里 美郷”構想に基づき、生産から出荷までの一連の体制整備により、国産優良生薬の安定供給を目指す。

（8）不作付地の解消

不作付地については、そば、なたね等の作付を推進し、可能なかぎりの解消を図っていきたい。

【H28実績：16.4ha → H29目標：15ha】

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の目標作付面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	3,409.5	3,385.5	3,349.9
飼料用米	63.7	75.0	80.0
米粉用米	1.7	2.0	2.5
WCS用稲	149.4	152.2	155.0
加工用米	750.9	690.0	690.0
備蓄米	258.9	260.0	263.0
輸出用米	11.8	13.0	15.0
麦	5.5	3.0	3.0
大豆	492.8	552.8	560.0
飼料作物	312.7	318.0	325.0
そば	8.7	5.0	5.0
そば（二毛作）	0	1.0	1.0
なたね	0.8	1.0	1.0
その他地域振興作物	243.9	249.2	256.5
野菜	227.5	231.7	237.7
花き	12.7	13.5	14.3
果樹	3.7	4.0	4.5
その他作物	2.7	3.3	3.6
地力増進	197.6	200.0	205.0
生薬	0	1.0	1.5
景観形成作物	2.0	2.0	2.0
自己保全管理等	16.4	15.0	10.0
転作面積計	2,519.5	2,543.5	2,579.1
水田面積計	5,929.0	5,929.0	5,929.0

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)
1	大豆	団地化	イ	団地化面積 (6ha 以上)	120.4ha ()	211.8ha ()
2	大豆	団地化	イ	団地化面積 (3ha 以上 6ha 未満)	79.9ha ()	150.0ha ()
3	アスパラガス	団地化	イ	団地化面積	4.4ha ()	4.5ha ()
	えだまめ				10.3ha ()	10.8ha ()
	キャベツ				5.6ha ()	5.7ha ()
	きゅうり				0.1ha ()	0.3ha ()
	トマト				0.2ha ()	0.4ha ()
	ねぎ				1.4ha ()	1.6ha ()
	シイタケ				0.1ha ()	0.1ha ()
	すいか				1.2ha ()	1.3ha ()
	アスター				0.7ha ()	0.8ha ()
	菊				1.2ha ()	1.4ha ()
	メロン				0.7ha ()	0.8ha ()
	セリ				0.8ha ()	0.9ha ()
	ソラマメ				0.6ha ()	0.7ha ()
	なす				0.1ha ()	0.3ha ()
	かぼちゃ				1.1ha ()	1.2ha ()
	ミニカリフラワー				0.2ha ()	0.2ha ()
	計			28.7ha ()	31.0ha ()	
4	アスパラガス	ブランド 品目作付	ア	作付面積	11.3ha ()	11.5ha ()
	えだまめ				31.1ha ()	33.0ha ()
	キャベツ				12.6ha ()	12.8ha ()
	きゅうり				3.9ha ()	4.1ha ()
	トマト				6.7ha ()	6.9ha ()

	ねぎ				5.7ha ()	6.2ha ()
	ホウレンソウ				0.5ha ()	0.6ha ()
	シイタケ				1.5ha ()	1.5ha ()
	すいか				3.4ha ()	3.5ha ()
	花き				9.0ha ()	9.2ha ()
	計				85.7ha ()	89.3ha ()
5	メロン	振興野菜作付	ア	作付面積	1.1ha ()	1.3ha ()
	セリ				1.7ha ()	1.7ha ()
	ソラマメ				1.0ha ()	1.2ha ()
	ニラ				1.8ha ()	2.0ha ()
	モロヘイヤ				0.3ha ()	0.4ha ()
	計				5.9ha ()	6.6ha ()
6	そば(二毛作)	二毛作	ア	二毛作	0ha ()	0.5ha ()
	なたね(二毛作)				0ha ()	0.5ha ()
	計				0ha ()	1.0ha ()
7	飼料用米	わら利用(耕畜連携)	ア	取組面積	2.6ha ()	3.0ha ()
8	飼料作物	資源循環(耕畜連携)	イ	取組面積	23.5ha ()	29.3ha ()
	WCS用稲				35.6ha ()	35.7ha ()
	計				59.1ha ()	65.0ha ()

※「分類」欄については、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか1つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成30年度以降の目標値を設定している場合は、「平成29年度(目標値)」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、()内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり